

平成28年度 社会福祉法人むつみの里法人事業報告

法人

1. 法人の概要

法人名 社会福祉法人むつみの里
理事長 跡部則之
理事数 8名（評議員を兼ねる） 監事 2名 評議員 18名
運営する事業 就労継続支援B型 であい工房・交流サロン amie 定員 33名
地域活動支援センター I型自然房・相談支援事業
地域生活支援センター I型自然房 定員概ね 20名以上
外部サービス利用型指定共同生活援助 グループホーム正印 定員 男性 4名

2. その他事業報告

5月 内部監査会、理事会、評議員会
7月・11月 防災訓練 1月 理事会、評議員会
2月 職員検診 3月 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会

3. 合同ミーティング であい工房・自然房合同を毎月実施

4. 機関紙の発行 年6回（上市町内回覧）

5. 研修 社会福祉法改正のための社会福祉法人セミナー、会計研修

6. 苦情処理 文書・口頭による申し出なし

7. 防災訓練 避難通報消火訓練をであい工房と自然房の合同2回、グループホーム正印1回実施。

8. その他

つるぎの里家族会事務局

- ・中部厚生センターとの共催で家族教室を実施
- ・家族会総会を実施

就労継続支援B型であい工房

1. 施設の概要

所在地 中新川郡上市町柳町23
運営主体 社会福祉法人むつみの里
開設日 平成14年4月1日
(平成元年～平成13年 むつみ共同作業所)
主たる障害種別 精神障害 知的障害（18歳未満を除く）
開所日 毎週月曜～金曜（ただし国民の休日、12/29～1/3を除く）
開所時間 8:30～17:00
定員 33名
費用 就労継続支援B型の利用料の1割（所得により減免あり）

2. 施設の概要

施設建物 木造2階建 233.9㎡

3. 職員の状況 施設長1名(兼務)、常勤職員4名、非常勤職員3名

4. 事業の内容 精神障害等のある人が仕事や活動を通して社会活動を行い、個人や集団あるいは環境と適度な関わりを体験することで、地域住民としての生活の質を向上させる為の就労継続支援B型であい工房の事業を運営した。

(1) 利用実績 開所日数 256日、延べ利用者数 5,096人、利用実人員 320人

1日当たりの平均利用人数 19.9人

- (2) 就労事業の内容
- ①ぼかし肥、焼き菓子、手工芸品などの自主製品の製造販売
卸販売先:生活協同組合 CO・OP とやま、富山県生活協同・組みどり共同購入会
委託販売先:味蔵 移動販売 : 月2～3回程度
 - ②請負作業:藤堂工業(株)、(株)ロキテクノ、(株)ティール・コミュニケーションズ
 - ③施設外請負作業 ダスキンのマット・モップ交換、アスコのトイレ掃除
利用者3名職員1名の1ユニットで行った。

④給食：週5日

*平成28年度 平均時工賃 時給 282円（賞与年3回含む）（富山県平均工賃 時給 210円）

*工賃向上のため、作業の合理化を図った。*自主製品の移動販売を継続して行った。

(3) その他の事業

生活支援 健康教室により健康管理を学ぶ。研修旅行や社会見学を行い、社会性を学んだ。
地域参加 地域のイベントに参加し交流を図る。また、イベントを主催し積極性を育てた。
集団ミーティング 行事、作業、規則等について話し合う事を学んだ。
利用者の苦情及び相談等 その都度対応した。又、個別支援計画を作成し実施した。
個別支援会議 利用者の適正なサービス利用のための会議を行った。または参加した。
朝礼 毎日朝礼・ラジオ体操を行った。

(4) 全体行事

4月 花見：上経田公園
5月 社会見学：ボウリング、施設見学(黒部市役所食堂、あいもと里山工房) ()
6月 一泊研修旅行（北陸新幹線で行く東京）
7月 第9回ふれあいウォーキング（上市町社会福祉協議会）
8月 社会見学（池田屋安兵衛商店見学、大和）
10月 推進協地域ふれあい交流会（バーベキュー） 富山県精神障害者レクリエーション大会
12月 クリスマス会、年越しそばの会
1月 新年会 3月 レクリエーション会（共同募金会助成金）
その他：健康教室年3回 ランチデー毎月1回

5. 研修・見学・実習生・職員研修

①見学・実習生 ・一般見学者 58名 施設利用希望者 10名・利用実習者 1名
・上市中学校 14歳の挑戦 2名
・中部厚生センター保健師実習生 1名 ・富山県総合衛生学院看護学生 21名
・かみいち総合病院研修医 8名・PSW2名 ・メンタルサポーター2名

②職員研修

4月 ふされん総会 12月 きょうされん北陸・近畿ブロック研修会
5月 地域精神保健福祉担当者連絡会 2月 地域精神保健福祉推進協議会研修会
7月 あみ全国大会（東京2日間） 3月 発達障害の方の就労支援を考える研修会
家族会総会・家族教室 富山県事業者説明会
地域精神保健福祉推進協議会総会
9月 新川会GH見学 家族教室
11月 サービス管理責任者研修
家族教室 防犯対策研修

6. 表彰 10月 全国食品衛生優良施設表彰（日本食品衛生協会）

地域交流サロン amie（あみ）

1. 就労継続支援B型従たる施設の概要

所在地 富山県中新川郡上市町西中町11番地 カミール2階
開店日 平成25年4月2日
主たる種別 精神障害、知的障害（18歳未満を除く）
開所時間 10：00～17：30（日曜日、水曜日、年末年始を除く）イベント等の時は営業。

2. 施設の建物・面積 鉄骨4階建て 2階の一部 83.62㎡

3. 職員体制 であい工房に含む

4. 事業活動の内容 上市町まちなか交流プラザ内の2階に設けられた地域交流サロンの運営を受諾し、地域交流サロンの設置目的である「年齢に関係なく、地域の方が集い交流できる場所」になるよう努めた。更に、自主製品などの物販や軽食喫茶コーナーを運営した。拠点を持つことで販売の強化を行い、併せて利用者の仕事を作り出し

た。また、まちなかの活性についても尽力した。

喫茶の役割：憩いの場として軽食、飲食を提供し、焼き菓子、工芸品、委託品を販売し管理した。
サロンの役割：無料のお茶などを提供、サロンの整理整頓や清掃。

5. 事業実施状況

- (1) 利用者の状況 ①作業時間 9:30~12:30(休憩 15分) 1名、12:30~16:30(休憩 15分) 1名
②作業内容：主に接客などのフロア係 ③開所日数：268日
- (2) イベント等参加 カミール3周年祭、 おれんじカフェ（上市町包括支援センター企画）
市姫さんど ふるさと観光上市まつり
姫たちのフェスティバル カミール新春イベント
- (3) 会議、研修、打ち合わせ等 ① テナント会議（4月より年8回開催）
② その他（イベント打ち合わせ、amie ミーティング）
- (5) その他
- ① 中部厚生センター店舗衛生立ち入り検査（年2回）
 - ② 上市消防署消防点検
 - ① 自衛消防訓練（カミール全館）年2回
 - ② 害虫駆除、ワックスがけ（カミール全館）
 - ③ 電気保安協会点検
 - ④ 富山ガス点検

地域生活支援センター自然房 I 型

1. 施設の概要

所在地 中新川郡上市町柳町 23 番地
事業開始年月日 平成 18 年 10 月 1 日
主たる障害種別 精神障害（18 歳未満を除く） 指定相談事業のみ：障害者（児）
事業の種類 地域活動支援センター：開所時間 9 時～18 時
休所日 日・月曜日、国民の祝日、年末年始、盆休
相談支援事業： 営業時間 9 時～17 時 30 分
休所日 土・日曜日、国民の祝日、年末年始、盆休
費用 実費
主たる事業実施地域 富山市、滑川市、上市町、立山町、舟橋村

2. 施設建物 鉄骨 2 階建（準耐火構造）1 階 60.04 m² 2 階 59.49 m² 計 119.53 m²
3. 職員の状況 施設長 1 名(兼務) 相談支援専門員 1 名 生活支援員 3 名（常勤 5 名）
4. 事業の概要 精神障害等のある人が地域で安心して暮らせる社会の実践をめざして、地域生活支援センター自然房・相談支援事業を行った。

(1) 地域活動支援センター I 型事業

利用実績 開所日数：247 日 延べ利用者数 2,486 名 平均利用者数 10.1 人 登録者 104 名
①基礎的事業

- ア 居場所の提供：本人の意思に基づく自由な参加、当事者同士の出会いと交流、人との相互関係の構築、本人のニーズ再発見、回復等に努めた。
イ 日常生活支援：必要に応じて、調理、金銭管理の支援、服薬についての支援等を行った。
ウ プログラム活動：創作的活動、日常生活技術、文化的活動、余暇の有効活動支援、疾病理解等を行った。
震災復興ボランティア「福島 UF-787 プロジェクト（菜の花ひまわりプロジェクト）」に参加

② 機能強化事業

- ア 福祉及び地域の社会基盤との連携強化：交流、相互理解、共同、地域での生活力の向上。
・パークゴルフ・地域クリーン活動（空き缶等拾い）

- ・地域公開講座の開催 「消費者トラブルとその対処法」
 - ・上市町包括支援センター おれんじカフェとの共催
「絵手紙教室」 「歌声喫茶」 「書道教室」
 - ・サテライト相談会：年 10 回開催（立山町年 4 回）（滑川市年 4 回）（舟橋村年 2 回）
 - ・中部厚生センター管内地域精神保健福祉推進協議会事業等に参画
管内地域精神保健福祉推進協議会幹事会（年 3 回）総会・研修
メンタルヘルスサポーター研修会（5/12 10/5）
地域ふれあい交流会（10/4）
 - ・上市町・上市町社会福祉協議会、他市町村の行事に参加
上市町いきいき健康フェスティバル、上市町福祉大会、上市町ふれあいウォーキング
上市町ふれあいフェスティバル、上市町障害者週間イベント、
立山町健康と福祉を考える 1 日元気デー、滑川市障害者週間イベント
- イ 地域住民ボランティア養成、普及啓発活動等を行った。
- ・メンタルヘルスサポーター研修会、
上市町社協傾聴ボランティアフォローアップ研修会・養成講座、
上市町社協ボランティア情報交換会（2/10）
 - ・見学・実習生受け入れ）
富山県立総合衛生学院看護学生 21 名 かみいち総合病院研修医・実習生 8 名
中部厚生センター実習生 1 名 14 歳の挑戦(7/4～7/8)
CO・OP とやま 3 名 (5/18) せせらぎ家族会 8 名 (9/30)
全国精神障害者地域生活支援協議会（あみ） 8 名 (10/15)
富山市家族会 35 名 (11/2) 施設利用希望者 36 名
- ウ・つるぎの里家族会との連携・育成を行った。また、中部厚生センターと共催の研修も実施。
- エ・当事者力を高める活動の支援を行った。自主性、肯定的受容、やりがい、満足感等を尊重し、当事者は自主的に行う行事の支援を行った。
- ・アルコール依存症自助グループ（断酒会）支援：毎月第 3 木曜日 18 時～20 時
 - ・元気会（当事者会）の支援：週 1 回上市町体育センターにてスポーツ活動

(2) 相談支援事業

開所日数：242 日 登録者数：131 名

支援の方法：福祉サービスの利用資源、インフォーマルサービスの活用と社会資源を活用するための支援、社会生活を高めるための支援、権利擁護のために必要な支援、専門機関の紹介、日常生活上の悩み解決支援、雇用、就労関係の支援等

支援の手段：電話・来所相談、訪問面接（相談）、手続き等の同行、関係機関との協議調整等

- ①一般的な相談支援 障害者・障害児、家族等からの支援（交付税） 2,684 件
 - ②指定特定相談支援事業 計画相談支援（個別給付）
 - ・サービス利用支援 90 件
 - ・継続サービス利用支援 93 件
 - ・サービス利用支援に関わる相談 918 件
 - ③指定障害児相談支援事業 計画相談支援（個別給付）
 - ・サービス利用支援 2 件
 - ・継続サービス利用支援 1 件
 - ・サービス利用支援に関わる相談 13 件
 - ④指定一般相談支援事業 ※対象者：精神障害者（18 歳未満の者を含まない）
 - ・地域移行支援（個別給付） 0(2)件
 - ・サービス利用支援に関わる相談 50 件
地域移行推進ワーキングを通じて、地域移行・地域定着支援（地域生活の準備のための外出支援・施設利用支援、退院後の常時連絡体制の確保等）
- ① 滑川・中新川郡障害者自立支援協議会への参画
- | | | | |
|-------------|-----|--------------|-----|
| ・協議会（代表者会議） | 2 回 | ・運営会議 | 2 回 |
| ・相談支援部会 | 5 回 | ・就労・日中活動支援部会 | 4 回 |

- ・地域生活支援部会 4回 ・障害児支援部会 5回
- ② 個別支援会議、アウトリーチ（訪問、同行）の実施
 - ・個別支援会議 58回
 - ・アウトリーチ 735回（訪問 697回、同行 38回）
- ③ 権利擁護のために必要な援助
 - ・成年後見人や被後見人との連絡・調整や同行支援
 - ・日常生活自立支援事業の利用に関する関係者との打ち合わせや同行支援
 - ・虐待に関する研修に参加
 - ・虐待ケースの相談、通報、支援会議に出席

4. その他

職員研修を積極的に行い、資質の向上に努めた。また、定例職員会議を毎月開催した。また、情報交換及び支援方法決定のための会議を必要に応じて開催した。

・職員研修

中部厚生センター管内地域精神保健福祉担当者連絡会研修会
 富山県精神障害者障害福祉サービス事業所連絡協議会職員研修
 あみ全国大会研修会(東京都港区)、相談支援従事者 初任者研修、S S T研修
 富山県相談事業所連絡会 1回、立山町虐待防止協議会、地域移行推進研修会
 きょうされん近畿北陸ブロック研修会（金沢市・富山市）、防犯対策研修会
 発達障害支援事業所研修会、発達障がいのある方による体験談、富山県事業者説明会

外部サービス利用型指定共同生活援助 グループホーム正印

1. 施設の概要

所在地 中新川郡上市町正印新 766 番地
 開設日 平成 21 年 4 月 1 日
 主たる障害種別:精神障害・知的障害（18 歳未満を除く）
 定員 4 名
 費用 家賃、共有費、食費 他実費

2. 施設建物 1階 97.828 m²：玄関食堂兼談話室・居室（101 号室）・洗面洗濯所衣類乾燥室
 2階 106.535 m²：居室（201 号室、202 号室、203 号室）トイレ（2）、風呂

3. 職員の状況 管理者 1 名（兼務）、世話人 3 名（非常勤）

4. 利用実績 実員 4 名 延べ 48 名

5. 事業の内容 家庭環境や住宅事情等の理由により、住宅の確保が困難な障害者を対象に共同生活の場を提供し、日常生活の相談、援助指導を行い地域社会における自立の推進を行った。

(1) 事業活動の内容

- ①健康管理への配慮
- ②服薬に対する支援
- ③金銭出納に関する助言
- ④日常生活支援
- ⑤生活面の相談援助
- ⑥医療機関及び通所先との連絡・調整
- ⑦食事の世話（自炊、食事の提供など）

(2) 入居者負担金（消費税を含まない）

①協力金 20,000 円（入居契約時のみ） ②個人負担金（経費）

費 目	1 人当たりの月負担額（円）			
	101 号室	201 号室	202 号室	203 号室
家賃・維持管理費	18,000	18,000	25,000	22,000
光熱水費・雑費等	6,000	6,000	6,000	6,000
食費・行事費	24,000	24,000	24,000	24,000
合 計	48,000	48,000	55,000	52,000

